

先を見据えて取り組もう！

茗溪塾塾長 長谷誠基

3月になり、公立高校の発表があり、国公立大学の発表で今年の入試はほぼ終了となります。あとは国公立の後期入試と一部高校の2次募集が行われます。教室にはり出されている合格者を見ていると、今年は楽な入試だったなと感じることは今までに一度もなく、毎年厳しい中を頑張っていて、頑張っていて何とか合格を勝ち取っている状況です。しかし、入試である以上全員が第1希望とする学校に進学できるとは限りません。例えば中学入試では第1志望に合格できる割合は20%～25%です。つまり4人～5人に1人しか第1志望には進学できないということになります。では、第1志望に行けないからその受験が失敗だったかということ、そんなことは決してありません。目標に向かって、努力し、悩み、1つ1つの課題を乗り越えていくことで培われた力はこれからの中学、高校生活の中で必ず生きていきます。また、今回の受験はあくまでも次の目標に向けてのステップです。これからの3年間または6年間で、新たな目標を見つけてそれを達成するために、これまでの努力と失敗から学んだことが活かされ、むしろさらに成長していく土台になります。先日、6年ぶりに訪ねてきた卒塾生がいました。その子も受験したときは第1志望ではない学校に行ったのですが、通った学校の同級生たちがみんなレベルが高く、入学してすぐにびっくりしたそうです。それに負けないように勉強した結果、大学受験では見事第1志望に合格できたということです。とても良い学校だったと言っていました。進学にあたってはぜひ前向きな気持ちで進んでほしいと思います。

さて、塾では3月から新学期を迎えたクラスがあります(中学受験コース以外のコース)。新しい学年としてスタートを切ったわけですが、ここで大切なのは前学年の復習です。中学生は学年末の試験が終わったところだと思います。結果が返ってきたときに、必ず間違えた問題のやり直しはやっておきましょう。1つ1つのテストで間違えた問題をやり直すことが今後の力になります。逆に穴をあけたままだといずれ、学習を積み重ねた中でその単元で困ることになります。春期講習では前の学年の総復習と次の学年の予習がテーマになっていますので、ぜひ活用して苦手をなくしておきましょう。また、先取り学習をすることで4月以降の学校の学習がスムーズに進むようにして下さい。1年後または2年後の目標に向かって、新たな気持ちで学習に取り組みましょう。